



せんだい3.11メモリアル交流館  
Sendai 3.11 Memorial Community Center



2022 令和4

4/29 金・祝

5/29 日

会場

せんだい3・11メモリアル交流館

仙台市若林区荒井字杵形85-4 (地下鉄東西線荒井駅舎内)

主催 / 七郷神社丹波神楽保存会

写真提供 / 菊地勝良

企画協力 / せんだい3・11メモリアル交流館

春に  
舞う

# 七郷神社丹波神楽写真展

しちごうじんじや たんばかぐら



仙台市若林区荒井にある七郷神社では、春と秋の例祭に神社の神楽殿で95年にわたり、「七郷神社丹波神楽」が奉納されてきました。

近年の新型コロナによる感染拡大防止から、今春の例祭での神楽奉納は中止となりましたが、今回、せんだい3.11メモリアル交流館で『春に舞う 七郷神社丹波神楽写真展』を写真愛好家菊地勝良さんのご協力のもと開催します。

ここで紹介する写真やこれまでの映像が、皆さんの心を少しでも晴れやかにし、この地域に根付き未来につなげたい仙台市登録無形民俗文化財「七郷神社丹波神楽」を知っていただく機会となれば幸いです。

七郷神社丹波神楽保存会





右手にあるのが神楽殿

### 【七郷神社丹波神楽】

七郷神社はもと熊野神社で、荒井字新屋敷（現：荒井 7 丁目）にありましたが、明治 42 年に他の神社を合祀して七郷神社と改称しました。

この地域は、古くから木ノ下白山神社（薬師堂駅近く）の「お浜おり」という神事の際に、深沼（荒浜）へ向かう行列の道筋にあたり、白山神社とはゆかりの深い土地柄でもありました。

昭和 2 年、七郷神社に神楽殿を建立した際、当時の氏子たちが「木ノ下白山神楽」を習得し、奉納したのが七郷神社丹波神楽の始まりです。

### 【七郷神社丹波神楽保存会】

現在会員 8 名、主に春と秋の七郷神社例祭に向けて（またはイベントなどで依頼があった際など）、七郷神社の社務所に集まり、演目を決めて稽古をしています。かつては地域の男性のみという制限もありましたが、現在は女性もメンバーに加わり年代・地域を問わず、広く参加を募っています。興味のある方は、ぜひ一度ご連絡ください。

保存会会長 堀江新一郎

幹事 大泉貞二

（電話）022-288-6452

### 【演目】

七郷神社丹波神楽の演目は全部で 13 番あり、すべてセリフのない默劇です。

「諏訪の舞」<sup>すわ</sup>（別名：力だめしの舞）や「種時舞」<sup>たねとき</sup>「釣舞」は、短い筋立てとユーモラスな所作があることから親しみやすく、笑いを誘います。楽曲は、幕の出と引き込みに軽快な「天だれ」<sup>あま</sup>を、舞始めに壮重な「乱声」<sup>らんじょう</sup>を、舞人が鈴などをもって舞うときには「舞」と呼ぶ曲をながします。舞手と笛・太鼓の掛け合いが見ものです。



5/5  
木・祝  
11時～11時30分  
実演

5月5日の午前中、交流館屋上で「方平舞」<sup>ほうへいまい</sup>の実演をします。ぜひお越しください。